

バリアーグラス工法のご紹介

バリアーグラス工法は石炭灰のクリンカーアッシュと針葉樹皮で製造した基盤材の「樹皮マルチソイル」と、セメント、水、着色剤を混合し、地面に植物の発芽が困難な、硬い防草基盤を造成する工法です。



- ◇ クリンカーアッシュ（石炭灰）と針葉樹皮をリサイクルした製品です。
- ◇ コンクリート構造物と異なり、透水性があり、保水性もあります。
- ◇ 有害物質を含まない、安全な製品です。
- ◇ 斜面に施工した場合、降雨等による侵食の防止も期待できます。
- ◇ 防草効果が10年程度持続すると考えております。
- ◇ 周辺の環境に違和感を与えないように着色剤による色の調整ができます。



バリヤーグラス工法施工実績

◇国道脇民家背後斜面での施工実績



◇斜面及び平地での施工実績



◇グラウンド脇斜面の施工実績

